

2024年1月24日発行

Contents

- 1) 学会からのお知らせ
- 2) 外部連携団体からのお知らせ
- 3) 健康心理学コラム vol. 133 「食物アレルギーの治療を心理面から支える」小西 瑞穂 (東京成徳大学)

1) 学会からのお知らせ (<https://kenkoshinri.jp/>)

■ヨーロッパ健康心理学会 Practical Health Psychology blog (PHPB, 実践健康心理学ブログ) の1月記事のお知らせ (国際委員会より)

“Fancy a wee walk? - Dyadic behaviour change support for walking after stroke”の日本語記事「ちょっと散歩しない?—脳卒中後のウォーキングのための二者単位での行動変容支援」が掲載されました。

下記 URL よりご覧ください。

<https://practicalhealthpsychology.com/ja/>

※アクセスの際は、URL 全てをコピーしアドレスバーへペーストのうえご覧ください。

※ブラウザによっては開けない場合があります。その際にはお手数ですが、別のブラウザにてお試しください。

2) 外部連携団体からのお知らせ

■GEAHSS 主催公開シンポジウム2/18のご案内 (人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会 (GEAHSS) より)

公開シンポジウム (「なぜ日本のジェンダー指数は低いのか」+「若手・女性のためのテーマ別ディスカッション」) が開催されます。

日時: 2024年2月18日 (日) 13:00~16:30

※Zoom 開催・参加無料 (※申込み締切2月10日)

詳細は以下 URL よりご確認ください。

https://geahssoffice.wixsite.com/geahss/single-post/news_20231229

3) 健康心理学コラム Vol. 133

「食物アレルギーの治療を心理面から支える」

小西 瑞穂 (東京成徳大学)

世界的に食物アレルギーの子どもが増加 (Prescott et al., 2013) していますが、有効な根本治療法は未だ確立していません。そのため、患者やその保護者の多くは原因食物を除去する、あるいは少量から限定された量を食するという制約の多い食生活を長期間に渡って送っています。その結果、徐々に耐性獲得をしていく子どもが、原因食物の味や触感などに慣れなかつたり、アレルギー症状の発症への不安から原因食物自体に拒否感を抱き、寛解後も原因食物を摂取できない場合が臨床場面で散見されます。これはオペラント条件づけの罰訓練で説明が可能であると我々は考えています。原因食物を「身体に害を及ぼすもの

と認知し、心理的要因によって回避し摂取できない状況が生じることが予測されます。我々はこれを「心因性食物アレルギー」と名付け (小西他, 2022), その形成過程を検討すると共に、その予防プログラムの作成に取り組んでいます。

食物アレルギーの子どもの生活管理は主に保護者が行っています。保護者の心理面への介入プログラムとして、我々は牛乳アレルギーの子どもをもつ保護者への心理教育プログラムを作成したところ、母親の精神的な負担感が軽減されることが示されました (Konishi et al., 2019)。食物アレルギー治療において、生活管理者である保護者と患者である子どもの両方への心理的支援の必要性があると考えます。

引用文献

Konishi et al. (2019). Tentative development of a psychoeducational program for alleviating psychological burden of mothers of young children with milk allergy. *Journal of Health Psychology Research*, 31(2), 183-193.

小西 瑞穂 他 (2021). 食物アレルギーの心理面に与える影響に関する実態調査(2) 原因食物の違いによる差に焦点をあてて 日本健康心理学会第34回大会発表抄録

Prescott, S. L., et al. (2013). A global survey of changing patterns of food allergy burden in children. *World Allergy Organ J*, 6(1), 21.

日本健康心理学会広報委員会

<http://jahp-public.blogspot.jp/>

メールマガジンの配信停止、アドレス変更は下記アドレスまで

日本健康心理学会事務局 < jahp@pac.ne.jp >

メールマガジンへのご意見・ご感想は下記アドレスまで

広報委員会 < jahp@pac.ne.jp >

過去のメールマガジンは、こちらからご覧いただけます

<https://kenkoshinri.jp/health/health1.html#mailmaglist>